

## 報告事項 2 恵那市内のバス路線再編と運賃の見直しについて

### 1. 経緯

恵那市では、「明知鉄道沿線地域公共交通計画」及び「恵那市地域公共交通計画」に基づき、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成するため、令和4年度よりバス路線や運賃の見直しを行ってきた。

地域路線等の見直しは、計画に定めた地域ごとの見直し方針に基づき、地域住民の協力を得ながら検討を進め、運賃の見直しは、本協議会の下部組織となる運賃部会にて検討を進めてきた。これらの見直しにより、誰もが利用しやすい新たな移動サービスを提供していくこととする。

### 2. 内容

#### (1) 地域路線の再編

##### ①旧恵那地域のバス路線

【課題】 高校生の通学環境の整備、高齢者等の移動手段の確保

【方針】 現路線に新たな路線導入を含めた見直し

【再編】 新設 1 路線……元越線

延長 5 路線……三郷線、大洞循環線、小野川線、藤線、笠置線

朝夕の増便……中野方線、三郷線

日中の増便……藤線、笠置線、大洞循環線、まちなか巡回

【事業者】 東濃鉄道(株)、東鉄タクシー(株)

【運行開始】 令和5年3月18日(土)

【路線図】 別紙のとおり

##### ②明智地域のバス路線

【課題】 高齢者等の移動手段の確保、小中学生通学の柔軟な対応

【方針】 現路線の利用増進を図りながら、新たな移動手段の導入を含めた見直し

【再編】 継続路線……明智=峰山線、阿妻=横通線

新設路線……まちなか路線、明智デマンド交通

スクールバス導入……自主運行バスでの通学から変更

【事業者】 明知鉄道(株)

【運行開始】 令和5年4月1日(土)

【路線図】 別紙のとおり

##### ③上矢作地域のバス路線

【課題】 高校生等の通学環境の維持、高齢者等の移動手段の確保

【方針】 現路線の利用増進を図りながら、新たな移動手段の導入を含めた見直し

【再編】 継続路線……上矢作線（昼間減便）

新規路線……上矢作デマンド交通（昼間のみ）

【事業者】 平和コーポレーション(株)

【運行開始】 令和5年4月1日（土）

【路線図】 別紙のとおり

## （2）運賃の見直し

### ①普通旅客運賃の統一

【課題】 運賃体系が距離制、区間制と不均一、運賃の分かりづらさ、高額な定期代

【方針】 市内バス運賃の統一

【設定】 定時定路線型 市自主運行バス…………… 1乗車 200円 （←100～500円）  
（有償運送を含み、市域を跨ぐ路線は市内のみ定額）

東鉄営業路線…………… 1乗車 200円 （←170～340円）  
（明智線を除く）

デマンド型 よやくる号…………… 1乗車 300円 （現行通り）  
（岩村・山岡・明智）

### ②回数券旅客運賃

【設定】 普通回数券……200円 11枚綴り 2,000円（額面運賃の10倍）

### ③定期券旅客運賃

【設定】 定期券…… 1ヶ月 5,000円、3ヶ月 15,000円、6ヶ月 30,000円

学生学期定期

片道 運賃	通学			
	1学期	2学期（1）	2学期（2）	3学期
	4/1～7/31	8/25～12/31	8/11～12/25	1/1～3/31
200円	20,000円	20,000円	25,000円	15,000円

### ④運賃の割引

【設定】 障がい者……………運賃は半額、定期券は3割引

75歳以上でワンコインパスポート所有者……………1乗車 100円

免許返納者でワンコインパスポート所有者……………1乗車 100円

明知鉄道1日乗車券所有の者……………当日に限り無料

恵那市内バス1日フリー乗車券……………500円

## 3. 目標

目標値

項目	H29	R4	R5	R6	R7	R8
広域幹線・幹線の年間利用者数	220,117人	119,561人	140,670人	161,780人	182,890人	204,000人
地域路線の年間利用者数	117,732	94,037人	95,780人	97,520人	99,260人	101,000人

